

## 事務事業評価調書

事務事業名	総合福祉会館施設管理事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正内容	障害者自立支援法に基づく生活介護事業から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく生活介護事業への変更。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立総合福祉会館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	12							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	総合福祉会館の施設・設備。											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	適切な維持・管理をします。 長期間にわたる施設の安全保持。												
(7)	事業概要	総合福祉会館は、高齢者、障がい者、母子福祉センターの機能をあわせもつ施設であり、また保健センター、保健会館も設置され、さらに平成27年2月より暫定的に休日急病診療所も開設された福祉と保健の複合施設としての維持管理を行います。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	10	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		75,874	67,667	75,527	70,912	82,802							
		人件費	職員数	人	1.40	1.40	1.40	1.40	1.60						
			総額(B)	千円	11,693	11,255	11,438	11,060	12,884						
		総事業費(A+B)		87,567	78,922	86,965	81,972	95,686							
		特定財源(C)		938	998	1,004	1,300	919							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	938	998	1,004	1,300	919							
		市負担(D)		86,629	77,924	85,961	80,672	94,767							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	86,629		77,924	85,961	80,672	94,767									
財源計(C+D)		87,567	78,922	86,965	81,972	95,686									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	日東カストディアル・サービス(株)										
				②	(一社)吹田市障がい者の働く場事業団										
				③	近畿ビルサービス(株)大阪営業所										
		主な委託内容		施設管理・清掃・警備業務他											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(3) が困難な場合	①	活動内容	清掃、警備、設備管理等を適切に実施します。			目標	会館利用の安全を確保します。		
	②	成果内容	会館の維持管理を適切に行っています。			達成状況	事故もなく市民が会館を利用できています。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明		この施設は、高齢者、障がい者、母子福祉センターの機能をあわせもつ施設であり、また保健センター、保健会館も設置され、さらに平成27年2月より暫定的に休日急病診療所も開設された福祉と保健の複合施設です。本会館では、あらゆる事業(市民、乳幼児健診、バンビ親子教室いそが教室、生活介護事業、障がい者教室、地域包括支援センター等)を実施しており、市民等への還元も大きく、施設の維持及び安全を保ち、会館の安心・快適な使用を提供しなければならないと考えています。また、年々、修繕必要箇所が増えていくので館内の室課等や資産経営室との連携を深めて、効率のよい修繕等を進めていく必要があります。						

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	総合福祉会館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00351				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

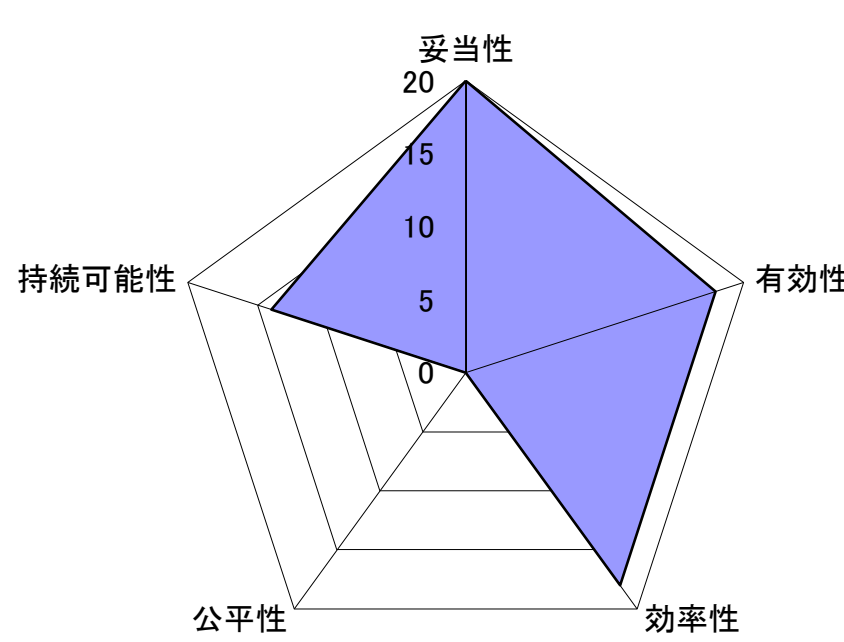
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00351
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

30年目を迎え、築浅の時期と比べると、施設維持補修経費がかかることは止むを得ないと思われま

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本会館は、昭和62年(1987年)に建築された建物で、耐用年数は50年とされています。各機器に関しては耐用年数を大幅に過ぎている物も多く、設備管理担当者や各メンテナンス業者から指摘を受けています。施設の維持及び安全を保ち、安心、快適な使用を提供するため日々の保守点検はもとより、計画的な機器の更新及び整備は必要不可欠です。</p> <p>平成28年度には施設改修事業で行った大規模な工事の他に、施設管理事業においても非常用自家発電設備のオーバーホール等不具合の修繕を26件行う等、老朽化した設備を補修することによって安定した会館運営に努めました。平成29年度は自動火災報知設備や減圧水槽の取替修繕を予定しており、館の安全を維持するために関係部局と調整し、実施計画及び予算要求を進め、施設の維持管理に努めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	総合福祉会館施設改修事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法に基づく生活介護事業から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく生活介護事業へ変更。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立総合福祉会館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	12							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	総合福祉会館の施設・設備。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	適切に維持・管理します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	長期間にわたる施設の安全保持。													
(7)	事業概要	総合福祉会館は、高齢者、障がい者、母子福祉センターの機能をあわせもつ施設であり、また保健センター、保健会館も設置され、さらに平成27年2月より暫定的に休日急病診療所も開設された福祉と保健の複合施設としての維持管理を行います。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	10	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		14,026	63,720	176,998	164,830	0							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	0						
		総事業費(A+B)		15,697	65,328	178,632	166,410	0							
		特定財源(C)		0	50,904	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	50,904	0	0	0							
		市負担(D)		15,697	14,424	178,632	166,410	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	15,697		14,424	178,632	166,410	0									
財源計(C+D)		15,697	65,328	178,632	166,410	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	改修工事の実施件数	目標値	(単位:件)	1.00	1.00	0.00
			実績値	(単位:件)	1.00	1.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	予算措置された改修工事の件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		65,328.00	166,464.00	
				一般財源(単位:千円)		14,424.00	166,464.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	長期間にわたって施設の安全を保ち、安心・快適な場を提供します。	達成状況	改修工事により、施設の老朽化の対応ができ、事故なく安心・快適な場を提供できています。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	この施設は、高齢者、障がい者、母子福祉センターの機能をあわせもつ施設であり、また保健センター、保健会館も設置され、さらに平成27年2月より暫定的に休日急病診療所も開設された福祉と保健の複合施設です。本会館では、あらゆる事業(市民、乳幼児健診、バンビ親子教室、いきがい教室、生活介護事業、障がい者教室、地域包括支援センター等)を実施しており、市民等への還元も大きく、施設の維持及び安全を保ち、会館の安心・快適な使用を提供しなければならないと考えます。平成28年度は空調設備の更新を行いました。今後はより一層関係部署との連携を深め、優先順位を考え、計画的にかつ早急に機器の更新及び整備を進めて行く必要があります。						

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	総合福祉会館施設改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00352				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">3 点</span>
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">5 点</span>
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">点</span>
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">点</span>
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">点</span>
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">点</span>
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">3 点</span>
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">3 点</span>
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">1 点</span>
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。 <span style="float: right;">3 点</span>
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))



所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00352
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

0年目を迎え、築浅の時期と比べると、施設維持補修経費がかかることは止むを得ないと思われます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>Radar Chart Data (Estimated)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	15	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>本会館は、昭和62年(1987年)に建築された建物で、耐用年数は50年とされています。各機器に関しては耐用年数を大幅に過ぎている物も多く、設備管理担当者や各メンテナンス業者から指摘を受けています。施設の維持及び安全を保ち、安心、快適な使用を提供するため日々の保守点検はもとより、計画的な機器の更新及び整備は必要不可欠です。経年劣化による不具合として、各室の空調設備の動作不良や機械室の空調機の内部の劣化の進行、非常用自家発電設備の減圧水槽の劣化等が起っています。また機器の長期間にわたる使用により修理が不可能なものも増えており、自動火災報知機の部品全てが製造中止で故障しても部品交換が不可能である等、会館の安定的な運営に課題がある状況です。平成28年度は大規模な工事として、空調設備改修工事を行い今後も館の安全を維持するために関係部局と調整し、実施計画及び予算要求を進め、施設の維持管理に努めます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	福祉活動の場提供事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法に基づく生活介護事業から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく生活介護事業へ変更。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立総合福祉会館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	12							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	高齢者、障がい者、母子及び関連福祉団体。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域福祉などの活動の拠点として、よりよい福祉の充実を図ります。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	社会活動への参加の促進。													
(7)	事業概要	高齢者、障がい者、母子及び関連福祉団体等に対し、活動の場を提供します。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	10	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		591	547	591	584	621							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		4,767	4,567	4,676	4,534	4,647							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,767	4,567	4,676	4,534	4,647							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			4,767	4,567	4,676	4,534	4,647								
財源計(C+D)		4,767	4,567	4,676	4,534	4,647									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	近畿ビルサービス(株)大阪営業所										
				②											
				③											
		主な委託内容		夜間、土・日曜日の貸室業務(警備業務含)											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	会議室等の貸館延件数	目標値	(単位:件)	4,000.00	4,000.00	0.00
			実績値	(単位:件)	3,718.00	3,757.00	
			達成度(%)		93.0	93.9	
	目標値の積算方法	281日(貸館日数)×3回(午前・午後・夜間)×8室の約60%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.23	1.24	
				一般財源(単位:千円)	1.23	1.24	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	会議室等の貸館延利用人数	目標値	(単位:人)	85,000.00	85,000.00	0.00
			実績値	(単位:人)	78,715.00	77,207.00	
			達成度(%)		92.6	90.8	
	目標値の積算方法	281日(貸館日数)×3回(午前・午後・夜間)×8室×21人(平均利用者人数)の約60%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.06	0.06	
				一般財源(単位:千円)	0.06	0.06	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		総合福祉会館は、3センター機能(高齢者福祉、障がい者福祉、母子福祉)をもっており、それらを対象とした事業(市主催の事業及び各種団体主催の事業)を行っているため公共性も高くなっています。また関係福祉団体等の福祉活動の拠点として利用率は高く、当事業の継続は必要と考えられます。				

# 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	福祉活動の場提供事業	事業区分	その他
事務事業番号	00353				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00353
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	15	公平性	15	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	15														
公平性	15														
持続可能性	10														
(3)現状分析															

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	介護予防サービス計画策定事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正 内容	医療と介護の連携、認知症施策の推進、生活支援と介護予防サービスの充実、新しい介護予防と日常生活支援総合事業が新たに規定された。											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	12							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護保険法に基づく要支援認定者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	福祉の増進を支援します。 心身の健康の保持及び地域において、尊厳ある生活の維持が図られます。												
(7) 事業概要	<p>介護保険の指定介護予防支援事業所としての業務です。                  介護保険の要支援認定者の介護予防サービス計画策定業務を実施するものです。                  要支援認定者の状況やニーズに合わせ、自立支援につながるよう介護保険サービス等の支援計画を策定します。毎月、状況把握を行い、3か月には1回必ず家庭訪問を行い、計画の評価を行います。介護報酬請求事務も行います。                  サービス計画の一部については、民間の指定介護支援事業所へ委託を行っています。</p>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	10	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		11,563	12,881	10,048	9,840	0							
	人件費	職員数	4.00	4.00	3.00	3.00	0.00							
		総額(B)	33,408	32,156	24,510	23,700	0							
	総事業費(A+B)		44,971	45,037	34,558	33,540	0							
	特定財源(C)		11,563	23,271	14,820	14,318	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	11,563	23,271	14,820	14,318	0							
	市負担(D)		33,408	21,766	19,738	19,222	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		33,408	21,766	19,738	19,222	0								
財源計(C+D)		44,971	45,037	34,558	33,540	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	指定居宅介護支援事業所										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護予防サービス計画策定業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 介護予防サービス利用者数 平成28年度より片山地域のみ	目標値	(単位:人)	375.00	249.00	251.00
			実績値	(単位:人)	425.00	251.00	
			達成度(%)		113.3	100.8	
	目標値の積算方法	介護予防サービス利用者数前年度実績 平成28年度より片山地域のみ	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	105.97	136.85	
				一般財源(単位:千円)	51.21	79.81	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		介護予防サービス計画策定件数 (介護予防支援報酬請求件数) 平成28年度より片山地域のみ	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 介護予防サービス計画策定件数 (介護予防支援報酬請求件数) 平成28年度より片山地域のみ	目標値	(単位:件)	4,304.00	2,844.00
	実績値			(単位:件)	4,851.00	2,998.00	
	達成度(%)			112.7	105.4		
	目標値の積算方法	介護予防サービス計画策定件数 (介護予防支援報酬請求件数) 平成28年度より片山地域のみ	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.28	11.46	
				一般財源(単位:千円)	4.49	6.68	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		介護予防サービス計画策定件数 (介護予防支援報酬請求件数) 平成28年度より片山地域のみ	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
①		活動内容				目標	
②	成果内容				達成状況		
今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		<p>本事業は、包括的支援事業とともに地域包括支援センターの必須事業です。平成28年度は事業内容に大きな変更はありませんが、平成27年4月の介護保険制度改正により、平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始します。これまで要支援1, 2の認定者が利用していたサービスの一部が介護予防給付の枠組みからはずれ、同事業の1つである介護予防・生活支援サービス事業に移行します。変更については早急に実施方法を決定し、地域包括職員、居宅介護支援事業所に研修を実施し、併せて市民に周知します。</p> <p>また、総合福祉会館が所管する片山地域包括支援センターについては、アウトソーシング推進計画に基づき、平成30年度より業務委託を行い、委託型地域包括支援センターへと置き換えます。</p> <p>介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、介護予防サービス計画策定事業は平成29年度より介護予防サービス計画等作成事業に移行します。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	介護予防サービス計画策定事業	事業区分	その他
事務事業番号	00354				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00354
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、介護保険法において地域包括支援センターが包括的支援事業とともに実施すべき事業として定められています。介護予防サービス計画作成については、地域包括支援センター職員が担当するとともに、一部は民間の指定居宅介護支援事業所に委託して事業を進めてきました。</p> <p>平成27年4月の介護保険制度改正により、平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始します。これまで要支援1, 2の認定者が利用していたサービスの一部が介護予防給付の枠組みからはずれ、同事業の1つである介護予防・生活支援サービス事業に移行します。変更については早急の実施方法を決定し、地域包括職員、居宅介護支援事業所に研修を実施し、併せて市民に周知します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

総合福祉会館が所管する片山地域包括支援センターについては、アウトソーシング推進計画に基づき、平成30年度より業務委託を行い、委託型地域包括支援センターへと置き換えます。

## 事務事業評価調書

事務事業名	生活介護施設運営事業				
担当部署	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	障害者自立支援法に基づく生活介護事業から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく生活介護事業へ変更。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、吹田市総合福祉会館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	03	細節	32							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	在宅の身体障がい者及び知的障がい者。												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	自立の促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図ります。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	社会参加の促進。												
(7) 事業概要	在宅の障がい者を対象に送迎付の通所による創作的活動、機能訓練、入浴、給食等の各種サービスを提供します。なお、当該事業は、昭和62年4月の開設以来、在宅障がい者デイサービスとして重度障がい者を対象として実施してきましたが、平成15年4月からの障害者支援費制度、平成18年4月から障害者自立支援法のもとで事業を実施し、平成19年4月から新体系である生活介護事業へ移行し、平成24年10月から事業を委託しました。また、平成24年の法改正により障害者自立支援法が障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に変更されています。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	10	大事業	06	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		52,055	52,324	52,153	52,634	52,303							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00							
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052							
	総事業費(A+B)		60,407	60,363	60,323	60,534	60,355							
	特定財源(C)		32,042	28,419	27,360	29,270	32,624							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	32,042	28,419	27,360	29,270	32,624							
	市負担(D)		28,365	31,944	32,963	31,264	27,731							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		28,365	31,944	32,963	31,264	27,731								
財源計(C+D)		60,407	60,363	60,323	60,534	60,355								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 株式会社オールケアライフ											
			②											
			③											
	主な委託内容		生活介護事業											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 年間延べ利用者数	目標値	(単位:人)	2,187.00	2,430.00	2,450.00
			実績値	(単位:人)	1,865.00	2,018.00	
		達成度(%)				85.3	83.0
	目標値の積算方法 245日(開所日数)×10人(1日最大利用者数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		32.37	30.13	
			一般財源(単位:千円)		17.13	15.63	
	(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が指標などで場合合す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)				0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標			
	②	成果内容	社会参加機会の実現、健康状態の把握と病状の維持、リハビリの実施によるADLの維持及び二次障がい予防の実現、家族の介護負担軽減と必要とされる適切な支援の実施。	達成状況	集団生活と家庭生活のサイクルが維持できており、他の利用者さんの気持ちを配慮することができ、社会参加への意欲向上がみえる。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>この事業は、昭和62年開所当初から障害者福祉センターの主事業に掲げてきた事業ですが、重複及び医療的ケアが必要な障がいのニーズに対応する入浴サービスを提供できる生活介護事業所として、総合福祉会館の生活介護事業の役割は重要となっています。</p> <p>事業の担い手については、平成24年9月末まで市直営で運営していましたが、本事業のコスト削減と事業の安定的な継続をめざし、平成24年10月から民営委託に変更しました。平成25年度は、療育に携わる職員数を平成24年度の6.5人から7.5人に増員し、平成27年度にはさらに利用人員の増加を図るため職員数を8.5人に増員したため委託料を増額しました。現在の登録人数は19名、1日あたりの受入れ人数は11人、平成28年度の1日平均利用者は8.3人となっていますが、支援学校を平成30年3月に卒業される予定で重度障がいのために医療的ケアを必要とする生徒2名が、平成30年4月から総合福祉会館への通所を希望しているため、職員の増員や送迎車両の増車等についての委託料の拡充を予定しています。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	生活介護施設運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00355				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00355
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度から1日の平均利用者数を10人受け入れられるための人員の整備等を行っています。平成26年度は、利用者の入院やインフルエンザによる欠席等のため、1日の平均利用者数は7.0人にとどまっていますが、平成27年度については7.6人、平成28年度については8.3人に増加しています。

また、平成24年10月から長期継続契約をしていた業者との契約期間が終了し、平成27年10月からはプロポーザル方式により選定された新たな事業所による運営に変わったため、利用者や家族の方からは、引き続き同等のサービスが継続できるのかと不安もあったが、概ね満足のいくサービスが受けられている。今後も利用者やその家族からの意見を傾聴し、サービスの向上に繋げられるよう図っていきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>総合福祉会館は、生活介護事業所として、在宅障がい者に対し、通所により入浴・排泄・食事の介護等を行うとともに、創作的活動の機会等を提供しています。また、医療的ケアを必要とするケースや介護負担の大きい入浴のニーズに対応する拠点施設として、あいほうぶ吹田とともにその役割を担っています。アウトソーシング推進計画により、平成24年(2012年)10月1日から民間委託し、事業を実施しています。</p> <p>また、年々増加する医療的ケアを要する重度障がい者のニーズに対応するため、利用枠の増加を図る必要があり、平成24年度の1日平均利用者数6.5人を平成25・26年度は8人、平成27年度は9人とするため人員の整備を行い、平成24年度まで別の受託者に委託していた生活介護の療育、給食調理、送迎について、平成25年度から1つの受託者に統一することにより、事業の一体的提供を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国の動向として、平成25年4月1日より本事業の根拠法令となっている「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に変更されたため、総合福祉会館条例等の改正を行ったところです。

## 事務事業評価調書

事務事業名	陶芸教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更。																	
(2) 直近の改正	平成19年度																			
(3) 根拠法令等	吹田市立総合福祉会館福祉増進事業等実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	03	細節	33													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
		範囲等	在宅の身体障がい者及び知的障がい者。																	
	目標 (どうい状態にしたいのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。																		
(7) 事業概要	在宅障がい者に対し、陶芸教室事業を行うことにより、機能訓練・日常生活訓練を図ります。毎週水曜日に午前の部・午後の部として、総合福祉会館で実施しています。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	14	大	事	業	02	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		2,110	2,101	2,110	2,088	2,110													
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25													
		総額(B)	千円	2,088	2,010	2,043	1,975													
	総事業費(A+B)		4,198	4,111	4,153	4,063	4,123													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
	(内訳)	市負担(D)		4,198	4,111	4,153	4,063													
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
		一般財源		4,198	4,111	4,153	4,063													
財源計(C+D)		4,198	4,111	4,153	4,063	4,123														
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	実施回数	目標値	(単位:回)	96.00	96.00	96.00
			実績値	(単位:回)	96.00	96.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	年間教室実施回数 概ね毎週水曜日2回(午前・午後)×年48週	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	42.82	43.03	
				一般財源(単位:千円)	42.82	43.03	
			達成度(%)		100.0	100.0	
②	指標内容	延べ利用人数	目標値	(単位:人)	1,152.00	1,152.00	1,152.00
			実績値	(単位:人)	736.00	703.00	
			達成度(%)		63.9	61.0	
	目標値の積算方法	15人(1回あたりの定員)×80%(出席率) ×96回(年間教室実施回数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.59	5.88	
				一般財源(単位:千円)	5.59	5.88	
			達成度(%)		63.9	61.0	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
一般財源(単位:千円)	0.00			0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	陶芸教室を開催することにより、在宅障がい者の日常生活能力を高め、社会参加を促進します。		達成状況	陶芸教室への参加で創造力が上がり、互いの交流を通じて社会参加も促進されています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>在宅の障がい者を対象に創作活動、交流の場を提供し、障がい者の社会参加の役割を果たしています。コミュニケーションを重視した創作的活動の場として自立の促進、生きがいの醸成、身体機能の維持を目指すなど評価できる事業です。</p> <p>利用者が限定される教室ですが、広報や参加者の口コミ等により新規参加者も増えています。一方で、高齢や病気等の理由で教室をやめる方もあり、結果として参加者が増えない状況が続いています。</p> <p>障がい者を対象とした文化、趣味、教養教室が少なく、参加者が教室を通じて相互の交流を深めることにより生きがいを高める事業として、総合福祉会館の陶芸教室の実施意義は高いと考えます。</p>				



事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	陶芸教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00356				

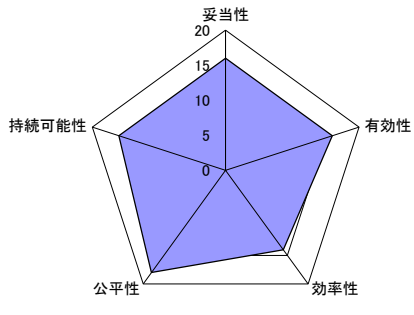
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00356
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業者団体による陶芸教室が開催できるよう検討を進めていますが、障がいの特性や多様な利用者が参加しているという点があり、対応できる実施主体、類似事業がなく苦慮しています。また、窯が老朽化しており、今後事業の継続のためには、窯の更新が不可欠であります。 今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	料理教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更。																	
(2) 直近の改正	平成19年度																			
(3) 根拠法令等	吹田市総合福祉会館福祉増進事業等実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	03	細節	33													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
		範囲等	在宅障がい者及びその介護者。																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。																		
(7) 事業概要	在宅の軽度障がい者に対し、料理教室(年4回)を通じて、機能訓練・日常生活訓練を行います。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	14	大	事	業	02	中	事	業	02	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		22	22	22	22	22													
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05													
		総額(B)	千円	418	402	409	395													
	総事業費(A+B)		440	424	431	417	425													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
	(内訳)	市負担(D)		440	424	431	417													
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
一般財源		440	424	431	417															
財源計(C+D)		440	424	431	417	425														
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	料理教室実施回数	指標内容	目標値	(単位:回)	4.00	4.00	4.00
			実績値	(単位:回)	4.00	4.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	料理教室年4回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		106.00	107.75	
				一般財源(単位:千円)		106.00	107.75	
	(2) 成果指標	②	料理教室参加者数	指標内容	目標値	(単位:人)	80.00	80.00
実績値				(単位:人)	80.00	66.00		
達成度(%)				100.0	82.5			
目標値の積算方法		料理教室定員20人×4回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.30	6.53	
				一般財源(単位:千円)		5.30	6.53	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容		目標					
	②	成果内容	料理教室を通して、機能訓練・日常生活訓練を行い、健康の増進と社会活動への参加を促進させ、生きがいを高めています。	達成状況	障がい者の健康が増進され、社会活動への参加も促進されており、生きがいを高めています。			
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	軽度の障がい者を対象にコミュニケーションと交流を重視した仲間づくりと生きがいつくりの場として多くの参加者があり、教室の定員も充足しています。教養文化活動等の機会を提供する事業として有効な手段だと考えます。						

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	料理教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00357				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00357
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加やニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	社交ダンス教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更。																	
(2) 直近の改正	平成19年度																			
(3) 根拠法令等	吹田市総合福祉会館福祉増進事業等実施要領																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	03	細節	33													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
		範囲等	在宅障がい者及びその介護者。																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。																		
(7) 事業概要	在宅の軽度障がい者に対し、社交ダンス教室(年5回)を通じて、機能訓練・日常生活訓練を行います。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	14	大	事	業	02	中	事	業	03	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		28	28	28	28	28													
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05													
		総額(B)	千円	418	402	409	395													
	総事業費(A+B)		446	430	437	423	431													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
	(内訳)	市負担(D)		446	430	437	423													
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
		一般財源		446	430	437	423													
財源計(C+D)		446	430	437	423	431														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			



## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 社交ダンス教室実施回数	目標値	(単位:回)	5.00	5.00	5.00	
			実績値	(単位:回)	5.00	5.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	社交ダンス教室年5回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		86.00	87.40	
				一般財源(単位:千円)		86.00	87.40	
	②	指標内容 社交ダンス教室参加者数	目標値	(単位:人)	75.00	75.00	75.00	
			実績値	(単位:人)	75.00	42.00		
			達成度(%)		100.0	56.0		
目標値の積算方法		社交ダンス教室定員15人×5回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.73	10.40	
	一般財源(単位:千円)				5.73	10.40		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	社交ダンス教室を通じて、機能訓練・日常生活訓練を行い、健康の増進と社会活動への参加を促進させ、生きがいを高めています。			達成状況	障がい者の健康が増進され、社会活動への参加も促進されており、生きがいを高めています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		軽度の障がい者を対象にコミュニケーションと交流を重視した仲間づくりと生きがいがづくりの場として、定員には達しないながらも多くの参加者があります。教養文化活動等の機会を提供する事業として有効な手段だと考えます。					

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	社交ダンス教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00358				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00358
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加やニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	民謡教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更。											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	吹田市総合福祉会館福祉増進事業等実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	03	細節	33							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	在宅障がい者及びその介護者。											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。												
(7) 事業概要	在宅の軽度障がい者に対し、民謡教室(年3回)を通じて、機能訓練・日常訓練を行います。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	14	大事業	02	中事業	04	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		17	17	17	17	17							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05							
		総額(B)	千円	418	402	409	395							
	総事業費(A+B)		435	419	426	412	420							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		435	419	426	412							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		435	419	426	412							
財源計(C+D)		435	419	426	412	420								
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 民謡教室実施回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	3.00	
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	民謡教室年3回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		139.67	142.00	
				一般財源(単位:千円)		139.67	142.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容 民謡教室参加者数	目標値	(単位:人)	60.00	60.00	60.00
実績値				(単位:人)	60.00	61.00		
達成度(%)				100.0	101.7			
目標値の積算方法		民謡教室定員20人×3回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.98	6.98	
				一般財源(単位:千円)		6.98	6.98	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	②	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
				目標値	(単位:)	0.00	0.00	
②	指標内容	実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0		0.0	
②	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	民謡教室を通して、機能訓練・日常生活訓練を行い、健康の増進と社会活動の参加を促進させ、生きがいを高めています。			達成状況	障がい者の健康が増進され、社会活動への参加も促進されており、生きがいを高めています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		軽度の障がい者を対象にコミュニケーションと交流を重視した仲間づくりと生きがいつくりの場として多くの参加者があり、教室の定員も充足しています。教養文化活動等の機会を提供する事業として有効な手段だと考えます。					

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	民謡教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00359				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)
②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3			点
③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5			点
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5			点
(3) 効率性 (20点)	16			①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)
②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5			点
③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5			点
④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5			点
(5) 持続可能性 (20点)	16			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00359
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加やニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	七宝焼教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更											
(2)	直近の改正	平成19年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立総合福祉会館福祉増進事業等実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	03	細節	33							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	在宅の身体障がい者及び知的障がい者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。													
(7)	事業概要	在宅障がい者に対し、七宝焼教室事業を行うことにより、機能訓練・日常生活訓練を図ります。毎月第1・3金曜日の午後に総合福祉会館で実施しています。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	14	大事業	02	中事業	05	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		201	198	201	199	201							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
		総事業費(A+B)		1,037	1,002	1,018	989	1,007							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		1,037	1,002	1,018	989	1,007							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	1,037		1,002	1,018	989	1,007									
財源計(C+D)		1,037	1,002	1,018	989	1,007									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 実施回数	目標値	(単位:回)	22.00	22.00	22.00	
			実績値	(単位:回)	22.00	22.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年間教室実施回数 概ね月2回(第1・3金曜日)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		45.55	46.18	
				一般財源(単位:千円)		45.55	46.18	
	②	指標内容	延べ利用人数	目標値	(単位:人)	176.00	176.00	0.00
実績値				(単位:人)	139.00	150.00		
達成度(%)				79.0	85.2			
目標値の積算方法		10人(1回あたりの定員)×80%(出席率) ×年間教室実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7.21	6.77	
				一般財源(単位:千円)		7.21	6.77	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	七宝焼教室を開催することにより、在宅障がい者の日常生活能力を高め、社会参加を促進します。			達成状況	七宝焼教室への参加で創造力が高まり、互いの交流を通じて社会参加も促進されています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		在宅の障がい者を対象に創作活動、交流の場を提供し、障がい者の社会参加の場として役割を果たしています。参加人数については、横ばいですが、コミュニケーションを重視した創作の場として、自立の促進、生きがいづくり、身体機能の維持を目指す事業として有効な手段です。					

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	七宝焼教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00360				

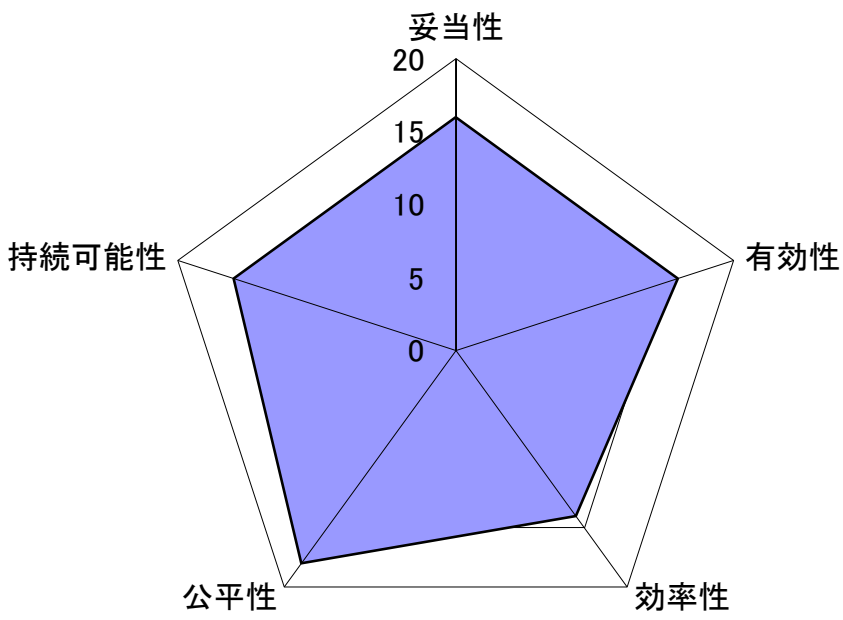
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00360
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加やニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	ダンベル・ストレッチ教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立総合福祉会館福祉増進事業等実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	03	細節	33							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	在宅の身体障がい者及び知的障がい者。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。												
(7) 事業概要	在宅障がい者に対し、ダンベル・ストレッチ教室事業を行うことにより、機能訓練・日常生活訓練を図ります。毎月第1・3金曜日の午前に総合福祉会館で実施しています。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	14	大事業	02	中事業	06	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		192	192	192	191	192							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
	総事業費(A+B)		1,028	996	1,009	981	998							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,028	996	1,009	981	998							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,028	996	1,009	981	998								
財源計(C+D)		1,028	996	1,009	981	998								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 実施回数	目標値	(単位:回)	22.00	22.00	22.00	
			実績値	(単位:回)	22.00	22.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年間教室実施回数 概ね月2回(第1・3金曜日)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		45.27	45.82	
				一般財源(単位:千円)		45.27	45.82	
	②	指標内容	延べ利用人数	目標値	(単位:人)	176.00	176.00	0.00
実績値				(単位:人)	164.00	181.00		
達成度(%)				93.2	102.8			
目標値の積算方法		10人(1回あたりの定員)×80%(出席率) ×年間教室実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.07	5.57	
				一般財源(単位:千円)		6.07	5.57	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	ダンベル・ストレッチ教室を開催することにより、在宅障がい者の日常生活能力を高め、社会参加を促進します。			達成状況	ダンベル・ストレッチ教室への参加で自立の促進が図れ、互いの交流を通じて社会参加も促進されています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		身近な場所でのリハビリ拠点が少なく、参加人数も年々増加し、健康の維持という面からも参加率も高い事業です。家族的な雰囲気の中で、コミュニケーションを重視し、機能訓練や参加者相互の交流、仲間づくりの場を提供する事業として有効な手段だと考えます。					

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	ダンベル・ストレッチ教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00361				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00361
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加やニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	包括的支援事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正内容	医療と介護の連携、認知症施策の推進、生活支援と介護予防サービスの充実、新しい介護予防と日常生活支援総合事業が新たに規定された。											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	12							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	概ね65歳以上の高齢者とその家族、介護者等												
		目標(どういう状態にしたいのか)	高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるようにします。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	地域住民の保健・医療の向上及び福祉の増進を図ります。													
(7)	事業概要	<p>地域包括支援センターの主たる事業。                      地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がその専門性や技能を互いに活かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワークを構築しつつ、個別サービスのコーディネートも行います。業務内容は、以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>総合相談支援業務 ○地域におけるネットワーク構築○総合相談支援等</li> <li>権利擁護業務 ○高齢者虐待への対応○成年後見制度の活用等</li> <li>包括的継続的ケアマネジメント業務 ○地域のケアマネジャーへの支援とネットワーク構築</li> <li>介護予防ケアマネジメント ○二次予防対象者への支援</li> </ol>													
(8)	H28事業別予算コード	会計	12	款	05	項	02	目	01	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,032	115	1,026	66	4,448							
		人件費	職員数	人	4.00	4.00	3.00	3.00	3.00						
			総額(B)	千円	36,012	33,804	26,505	25,020	24,906						
		総事業費(A+B)		37,044	33,919	27,531	25,086	29,354							
		特定財源(C)		29,820	27,305	22,163	19,905	23,630							
		(内訳)	国		14,447	13,228	10,737	10,362	11,448						
			府		7,224	6,614	5,368	5,181	5,724						
			その他		8,149	7,463	6,058	4,362	6,458						
		市負担(D)		7,224	6,614	5,368	5,181	5,724							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	6,614	5,368	5,181	5,724								
一般財源			7,224	0	0	0	0								
財源計(C+D)		37,044	33,919	27,531	25,086	29,354									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	医療法人 協和会										
				②	社会福祉法人 寿楽福祉会										
				③											
		主な委託内容		高齢者やその家族、関係者への相談支援業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	ケアマネジャー懇談会参加者数	目標値	(単位:人)	189.00	80.00	/
			実績値	(単位:人)	196.00	109.00		
		達成度(%)				103.7	136.3	
	目標値の積算方法	ケアマネジャー懇談会参加予定者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		173.06	243.77	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	包括的支援事業相談件数(権利擁護・ケアマネ支援・総合相談の相談件数)片山地域	目標値	(単位:件)	1,805.00	883.00	/
			実績値	(単位:件)	1,538.00	1,100.00		
		達成度(%)				85.2	124.6	
	目標値の積算方法	包括的支援事業相談件数前年度実績(権利擁護・ケアマネ支援・総合相談の相談件数)片山地域	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		22.05	24.16	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険法に基づき、第1号被保険者人口ごとに3職種(保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士)の人員数が定められており、専門職の数を充足させて高齢者人口の増加に対応した相談・支援体制をとることが必要です。					

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	包括的支援事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00362				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00362
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域包括支援センターの案内パンフレットや高齢者虐待防止・成年後見制度・介護予防等の事業紹介チラシを相談窓口で配布しているほか、関係機関の協力を得ながら地域包括支援センターが地域における高齢者の総合相談窓口であることを周知してきたことで、相談・支援件数も増加しています。平成28年4月には、委託型千里山東・佐井寺地域包括支援センターを開設し、より身近に相談のできる体制が整備できました。吹田市地域ケア会議には地区民生・児童委員会、地区福祉委員会、自治会、弁護士会、警察等が参加することで、地域の支援基盤の構築も進んでいます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度介護保険法改正において、包括的支援事業に4事業が追加され、実施に当たり業務量がかなり増加しています。地域包括支援センターの機能強化として、業務量に応じた人員配置、センター間の役割分担、連携強化、事業の点検・評価の充実が求められています。片山地域包括支援センターについては、アウトソーシング推進計画に基づき、平成30年度より業務委託を行い、委託型地域包括支援センターへと置き換えます。